

中国吉林省における鳥取県の青少年による郷土芸能「荒神神楽」公演

平成 25 年 9 月
鳥取県文化観光局
交流推進課

8月18日（日）～23日（金）の日程で、鳥取県は、青少年芸能団一行17名（鳥取県立日野高校の生徒12名他）を友好交地域である中国吉林省に派遣し、本県の郷土芸能「荒神神楽（こうじんかぐら）」の公演と現地の青少年との交流などを行いました。吉林省政府やボランティア学生などに温かく迎え入れられ、公演の際には延べ400名を超える観客（青少年、一般市民、政府・大学関係者）が集まり、極めて高い評価を得ました。拍手や歓声のタイミングやポイントが日本の観客と全く同じであったことも印象的でした。



（吉林省婦女児童センターステージでの公演）



（東北師範大学付属高校での「荒神神楽」公演）

また、吉林省の青少年による伝統的な音楽や舞踊や音楽の披露も行われ、公演終了後には、両地域の青少年が英語などを使って交流して親睦を深めました。その他、吉林省政府職員や学生ボランティアと一緒に長春市内の史跡・名所を見学したり、中国文化を体験するなど充実したプログラムとなりました。



（東北師範大学付属高校生徒による公演）



（両地域の青少年交流）

鳥取県と吉林省は、来年（平成26年）に交流20周年の節目の年を迎えます。本県は、次世代を担う青少年の交流を両地域の信頼を醸成し、幅広い分野の協力や連携強化に繋がるものとして重視しています。約1年ぶりとなる公式な交流行事でしたが、これまでと変わらない盛大な歓迎ぶりで、吉林省との絆の強さを再確認し、20周年に向けての交流の機運を高めることができました。次回は、吉林省の青少年に来県いただき、このようなお互いの文化を学び交流する機会を設けたいと考えています。

今回、吉林省で公演した鳥取県青少年芸能団について

1 名称

鳥取県立日野高等学校 郷土芸能部

2 演技内容

伝承芸能 神楽

3 演目

荒神神楽（こうじんかぐら）「八重垣能（やえがきのう）」

4 団体紹介

日野高等学校は、鳥取県南西部の日野町にあり、島根県、岡山県、広島県の各県との県境近くに位置しています。平成7年に産声をあげた郷土芸能部は、地域に残る荒神神楽を継承すべく活動を続けています。平成12年に日野産業高校から日野高校へ学校名は変わり、現在は総合学科の高校です。

地域の人に喜んでいただくため、依頼を受けて年間30回ほど校外で公演をしています。毎年3年生の卒業で部員が入れ替わりますが、郷土芸能部の活動は続いています。

5 演目紹介

日野町は、古来より出雲街道の宿場町として栄え、山陰と山陽の文化の交流点として独自の文化圏を築いてきました。演目の荒神神楽もその一つで、岡山県の備中神楽（びっちゅうかぐら）と島根県の石見神楽（いわみかぐら）の両方の影響を受け作り上げられた神楽と言われています。

荒神神楽「八重垣能」は、出雲神話、古事記でおなじみの八岐大蛇（やまたのおろち）退治を神楽化したものです。

学校近くの船通山（せんつうざん）が発祥の地といわれています。傍若無人な振る舞いを繰り返し稲田姫を連れ去ろうとする八岐大蛇をスサノオの尊が退治し姫を助ける物語です。神楽は本来一晩中でも舞い続けるほど長いものですが、短い時間にストーリー性を崩さず神楽の醍醐味を味わっていただくために仕上げています。

以上